

2018年3月期 決算説明会

1. 当期決算の概要(連結)
2. 次期業績見通し
3. 中期経営計画 TRANSFORM 2020の進捗状況

2018年5月15日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<https://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics



1

当期決算の概要(連結)

1) 当期の決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前期 2017/3	当期 2018/3		
		期初予想	実績	対前期増減率 (%)
売上高	166,285	175,000	174,249	4.8
国内売上高	124,764	128,000	128,144	2.7
海外売上高	41,520	47,000	46,105	11.0
売上総利益 (売上総利益率)	79,226 47.6%	-	82,759 47.5%	4.5
営業利益 (営業利益率)	13,585 8.2%	15,000 8.6%	14,517 8.3%	6.9
経常利益	14,053	15,000	14,501	3.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,149	10,200	9,154	0.1

← 為替影響除く:+8%

← ・重要商談での価格対応が影響
・自社品売上比率は上昇

自社品	2017/3	2018/3
売上比率	63.1%	64.0%

【特別損失】 2018/3
退職給付費用※1: 225百万円
課徴金等※2: 195百万円

← 法人税等調整額の増加:
米国税制改正の影響約8億円

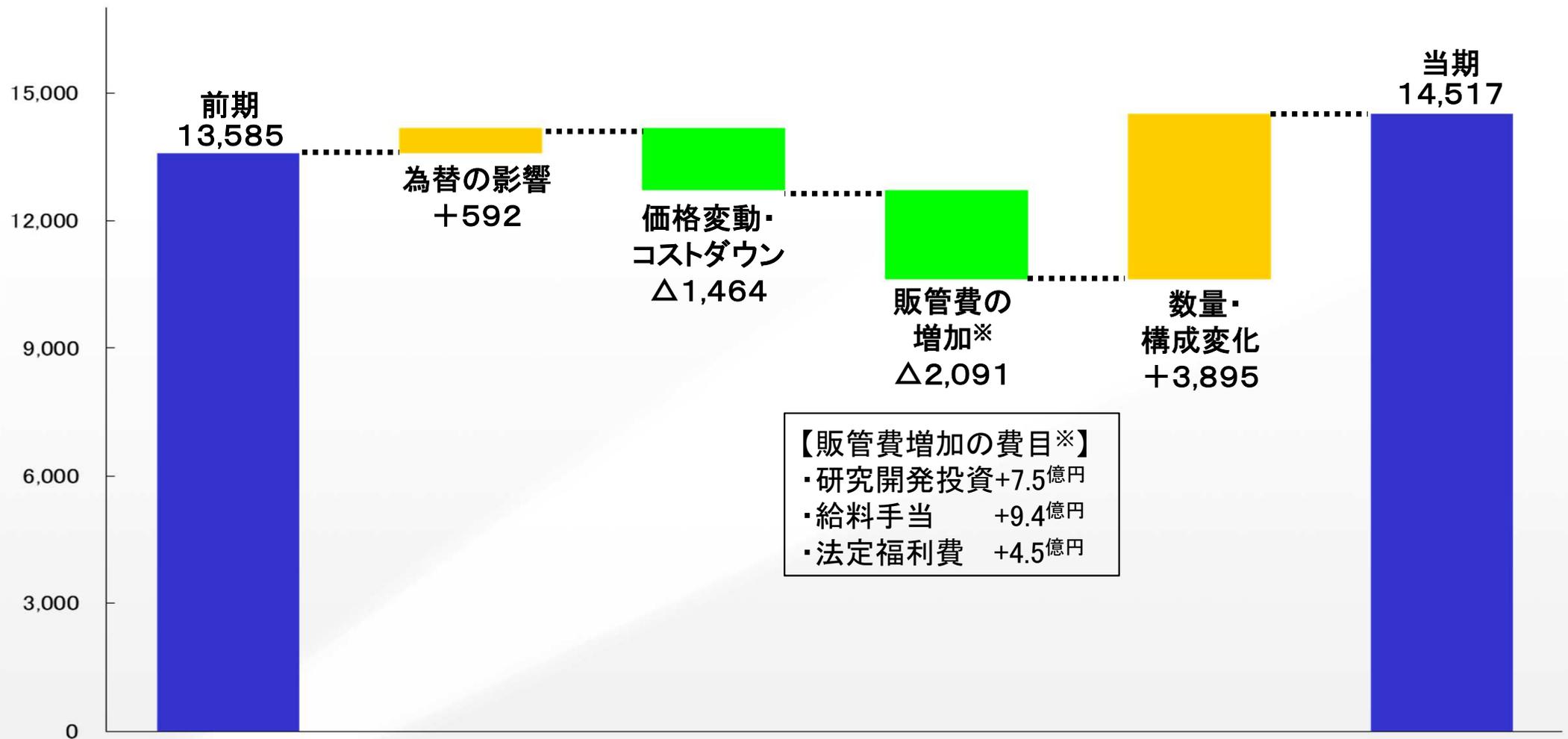
平均レート	(2017/3)	(2018/3)	(2018/3)
1ドル	109.2円	110円	111.0円
1ユーロ	119.3円	115円	130.0円

※1 確定拠出年金制度移行に伴う損失

※2 日本光電ヨーロッパ(有)に対するドイツ行政上の過料見込額

2) 営業利益増減の要因分析

(単位:百万円)



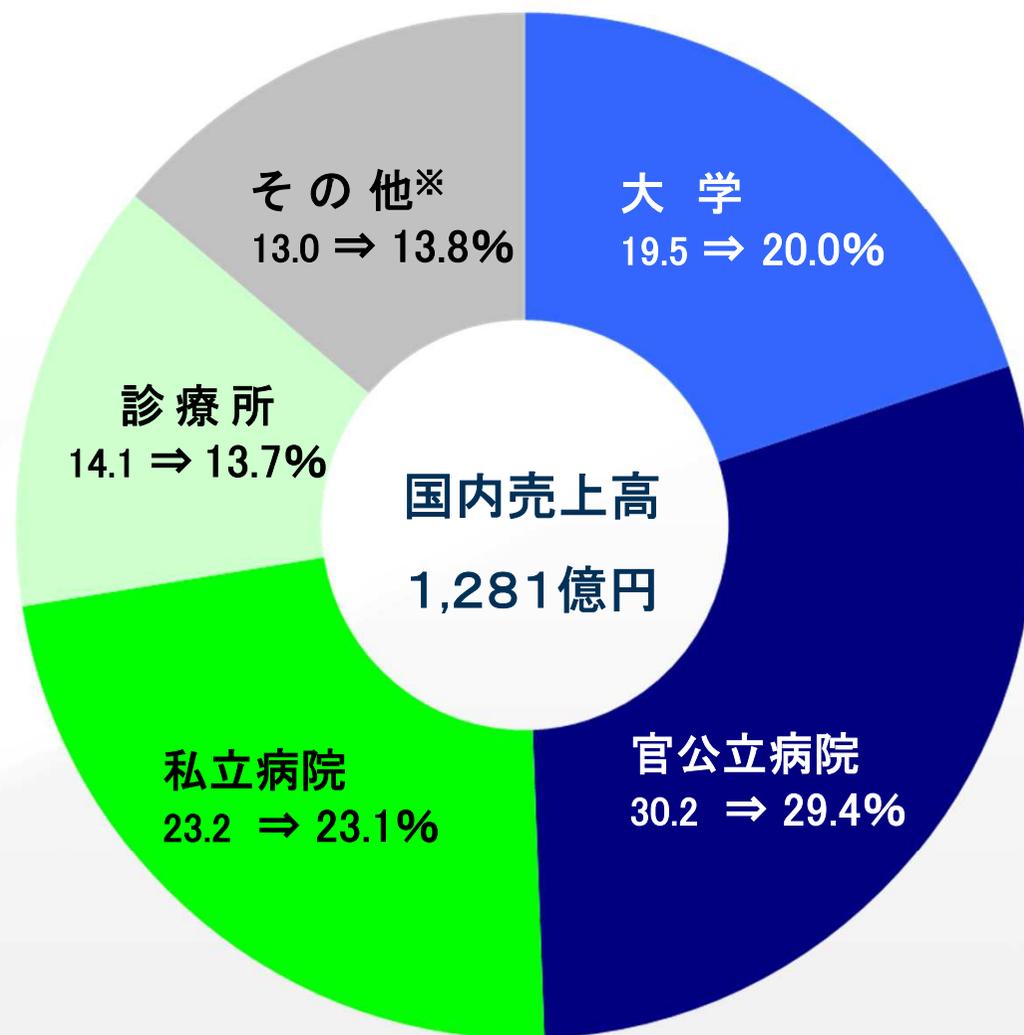
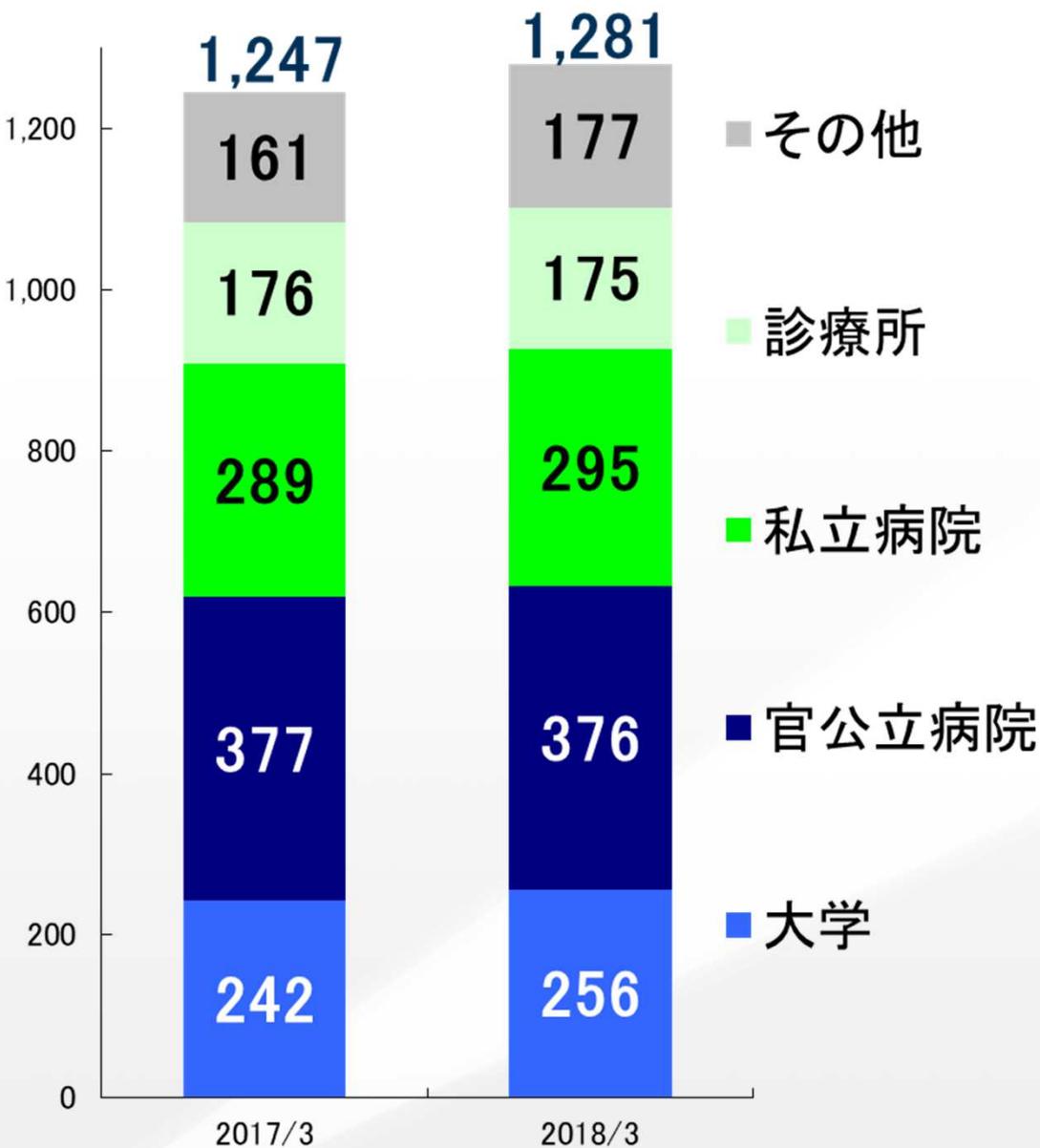
※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増加の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増加金額を表しています。

3) 国内売上高

【市場別売上高】

市場別売上構成比
(2017/3⇒2018/3)

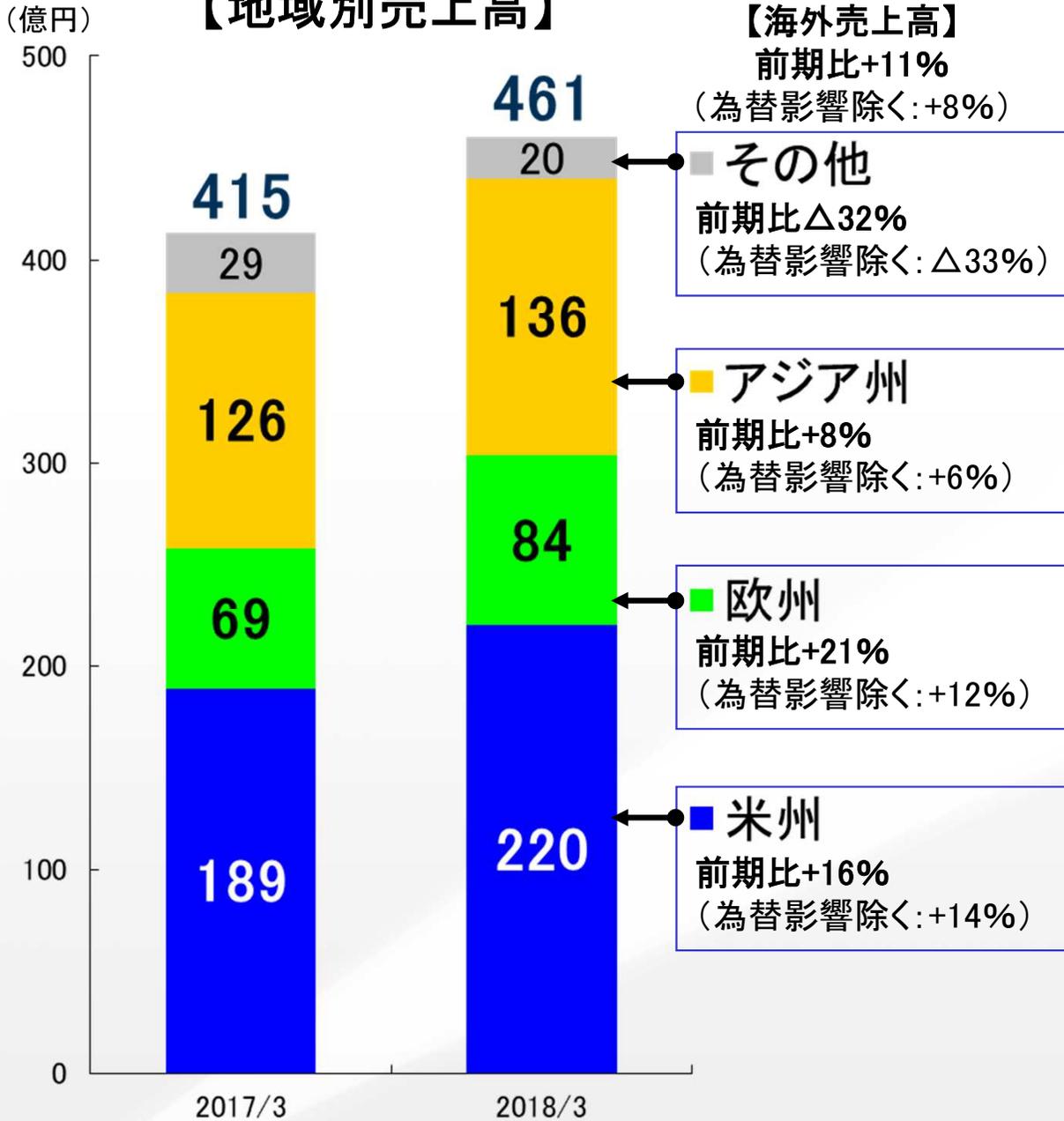
(億円)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

4) 海外売上高

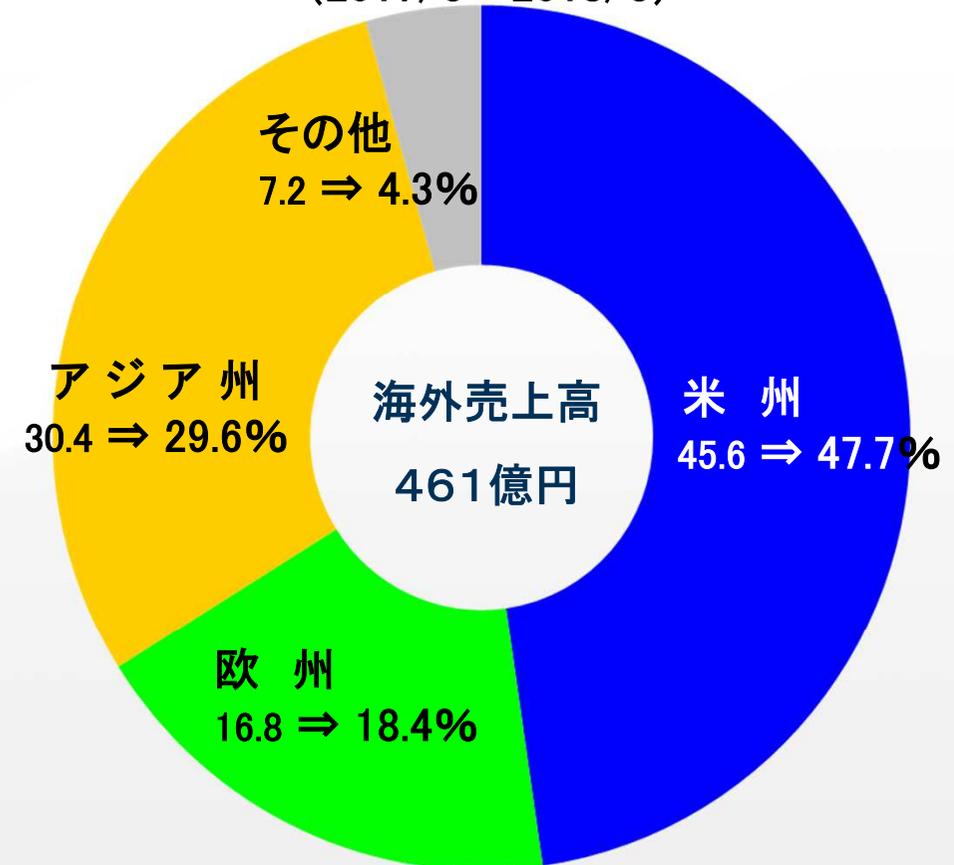
【地域別売上高】



海外売上高比率

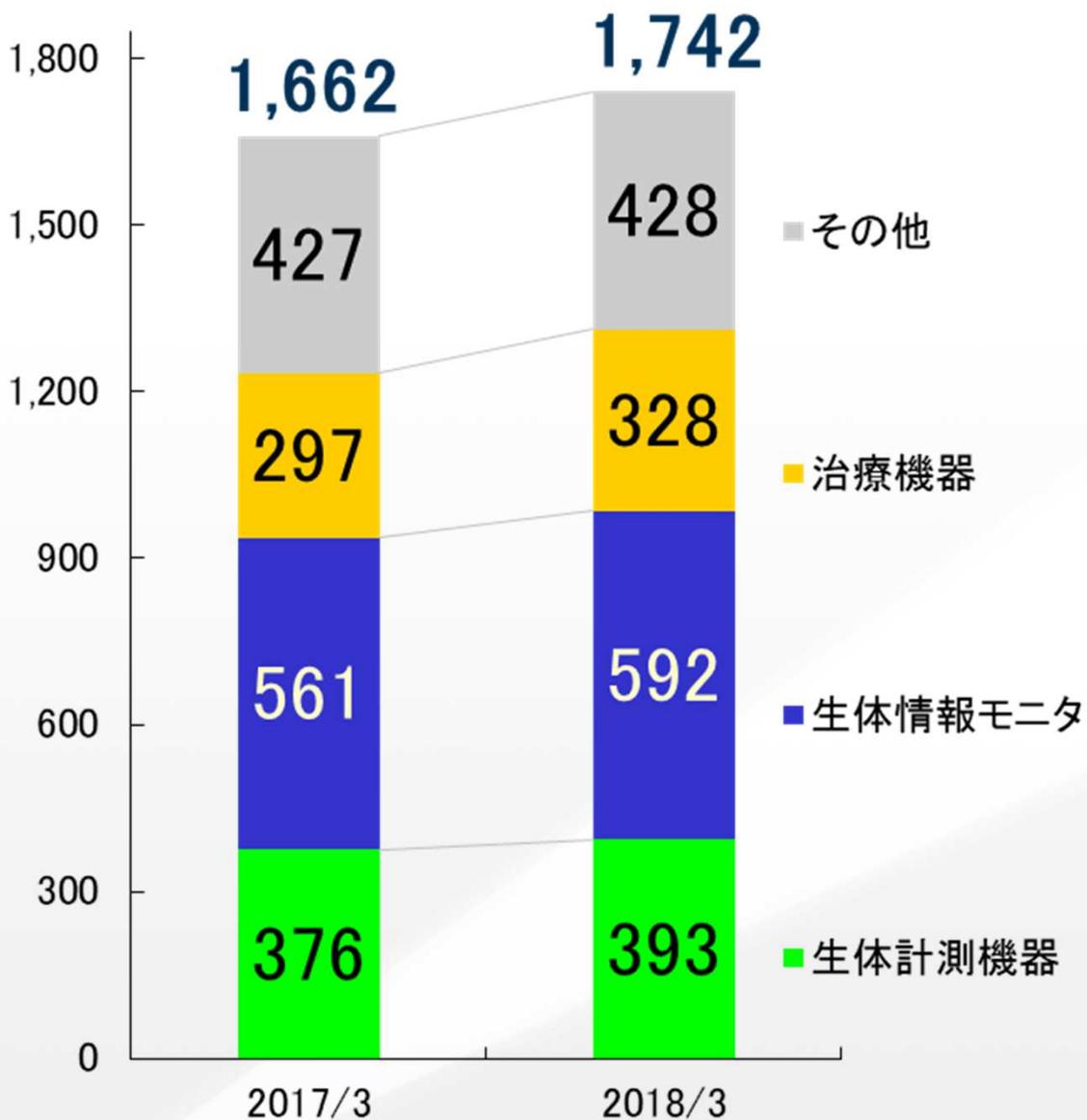
2017/3	2018/3
25.0%	26.5%

地域別構成比 (2017/3⇒2018/3)

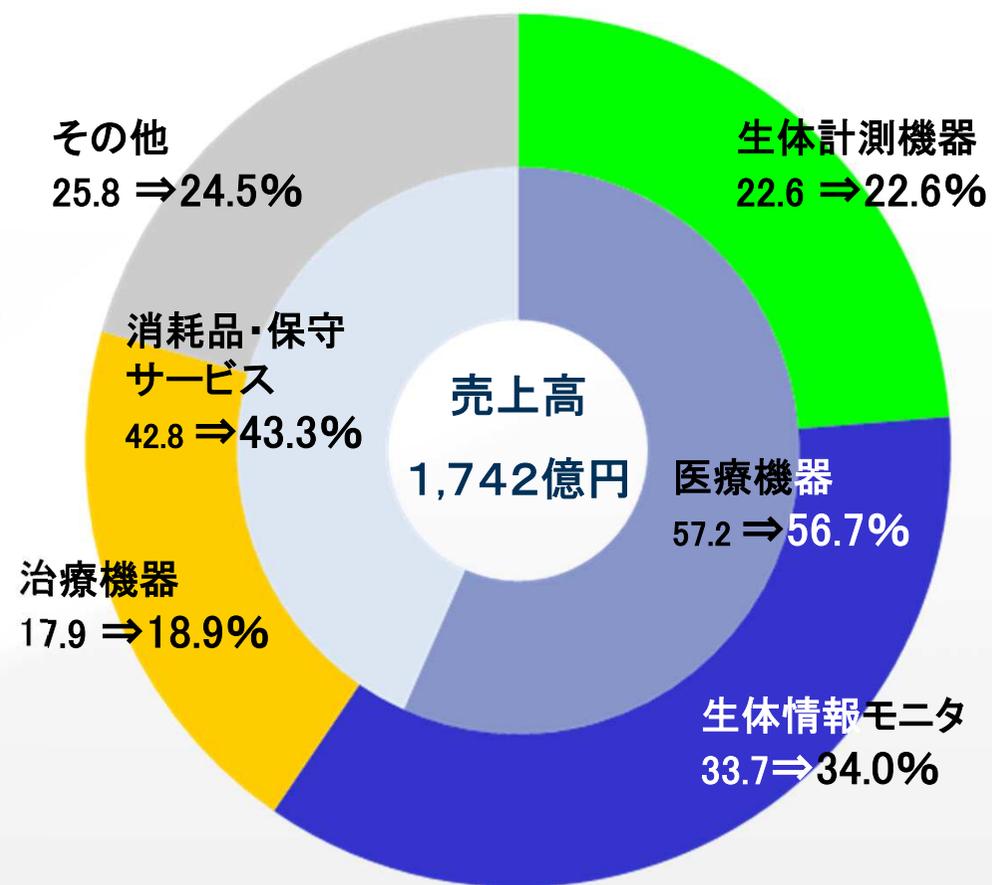


5) 商品群別売上高

(億円)



商品群別売上構成比
(2017/3⇒2018/3)



5.1) 生体計測機器

(単位:百万円)

	前期 2017/3	当期 2018/3	増減率(%)
脳神経系群	7,372	7,292	△ 1.1
心電計群	6,620	6,982	5.5
心臓カテーテル検査装置群	12,330	13,172	6.8
その他(診断情報システム等)※	11,334	11,874	4.8
生体計測機器合計	37,658	39,323	4.4
うち国内売上高	29,748	31,445	5.7
うち海外売上高	7,910	7,878	△ 0.4

心臓カテーテル検査装置群、診断情報システムが好調。心電計群も増収。脳神経系群は前期並み

心電計群は好調に推移するも、脳神経系群が前期を下回る

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

NEW!



筋電図・誘発電位
検査装置 MEB-9400

NEW!



ワイヤレス入力
ユニット WEE-1200

NEW!



心電計
ECG-2400

NEW!



ホルター心電計
RAC-5000

NEW!



臨床用ポリグラフ
RMC-5000



医療介護ネットワーク
システム LAV-1000

5.2) 生体情報モニタ

(単位:百万円)

	前期 2017/3	当期 2018/3	増減率(%)
生体情報モニタ合計	56,117	59,229	5.5
うち国内売上高	36,032	36,857	2.3
うち海外売上高	20,084	22,372	11.4

臨床情報システムの更新商談が増加。センサ類などの消耗品も堅調

米州、欧州、アジア州で増収。特に米国が牽引



ベッドサイドモニタ
CSM-1901



ベッドサイドモニタ
CSM-1500



送信機
ZS-640P



消耗品関連

※日本光電独自の血圧測定アルゴリズム。血圧カフを締め付けすぎず、短時間で測定。

5.3) 治療機器

(単位:百万円)

	前期 2017/3	当期 2018/3	増減率(%)
医科向け除細動器	5,109	6,285	23.0
A E D	13,175	14,867	12.8
ペースメーカー・ICD	3,111	3,189	2.5
人工呼吸器	2,205	2,432	10.3
その他	6,127	6,117	△ 0.2
治療機器合計	29,728	32,892	10.6
うち国内売上高	21,315	22,288	4.6
うち海外売上高	8,412	10,603	26.0

← ● 国内・海外ともに好調に推移

← ● 【国内】更新需要の回復により販売台数が増加
【海外】米州、欧州で好調に推移

(参考) A E D 販売台数	84,700台	92,000台	8.6
うち国内販売台数	44,300台	45,200台	2.0



除細動器
TEC-5600シリーズ



AED
AED-3100



心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
HAMILTON-C1



CPRアシスト
CPR-1100

5.4) その他

	前期 2017/3	当期 2018/3	増減率(%)
検体検査装置	12,074	11,224	△ 7.0
画像診断装置、 研究用機器他 [※]	30,707	31,589	2.9
その他合計	42,781	42,804	0.1
うち国内売上高	37,668	37,552	△ 0.3
うち海外売上高	5,112	5,251	2.7

(単位:百万円)

【国内】前期を下回る
【海外】中南米、欧州で堅調に推移

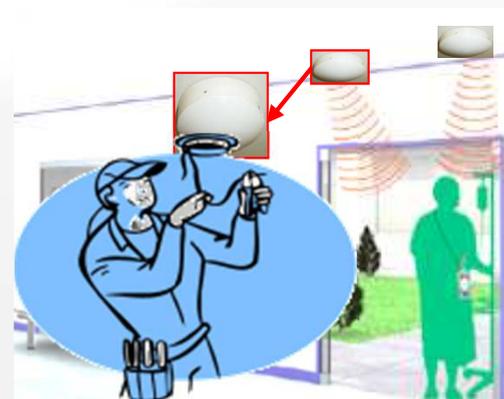
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器
MEK-9100



臨床化学分析装置
CHM-4100



設置工事・保守サービス

6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2017/3	当期末 2018/3	増減額		前期末 2017/3	当期末 2018/3	増減額
流動資産	119,235	124,601	5,366	流動負債	45,006	44,605	△ 400
たな卸資産	22,638	23,098	460	有利子負債	628	488	△ 140
有形固定資産	20,148	20,324	175	固定負債	3,913	3,980	67
無形固定資産	5,597	5,079	△ 517	純資産	103,887	109,355	5,468
投資その他資産	7,825	7,935	109				
資産合計	152,806	157,941	5,134	負債・純資産合計	152,806	157,941	5,134
たな卸資産回転月数	3.1ヵ月	3.0ヵ月		自己資本比率	68.0%	69.2%	

【たな卸資産増加理由】

- ・製品在庫は遞減したものの(△979百万円)、仕掛品・原材料在庫が増加(+1,439百万円)
- 電子部品の需給ひっ迫による先行確保
- リードタイム短縮に向けた材料確保

7) キャッシュフロー

(単位: 百万円)

	前期 2017/3	当期 2018/3	増減額
I 営業CF	11,356	10,843	△ 512
II 投資CF	△ 6,344	△ 3,346	2,998
FCF	5,011	7,497	2,485
III 財務CF	△ 3,517	△ 4,628	△ 1,110
換算差額	△ 217	△ 144	72
増減額	1,277	2,724	1,447
期末残高	28,560	31,285	2,724

	2017/3	2018/3	増減
税金等調整前当期純利益	13,851	13,954	+102

有形固定資産の取得による支出	△6,304	△2,901	+3,402
----------------	--------	--------	--------

ROE	9.1%	8.6%	
-----	------	------	--

自己株式の取得: 18年3月50万株(14.7億円)

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前期 2017/3	当期 2018/3			増減額 (年度比較)	次期計画 2019/3
		期初計画	前回計画※	実績		
設備投資額	7,710	5,700	5,200	3,430	△ 4,280	4,000
減価償却費	3,422	3,900	3,600	3,338	△ 83	3,900
研究開発費	6,466	7,300	7,300	7,226	759	8,500

●設備投資の実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、西落合事業所改修工事8億円

●2019/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、基幹システムのサーバ更新

●2020/3設備投資計画

東日本物流センターの建設 { 着工:2018年6月予定 完成・移転:2019年夏
2020/3設備投資額:8億円
(企画賃貸型のため、投資は移動ラックなど物流設備のみ)

※2017/11/6 第2四半期決算発表時の予想数値

2

次期業績見通し

1) 経営環境

国内

2025年医療・介護の将来像

- ・医療の機能分化・強化と連携
- ・地域包括ケアシステムの推進

2018年4月 診療報酬改定 本体0.55%増

【病院】入院医療評価体系の再編・統合

【診療所】オンライン診療、かかりつけ医機能強化加算の新設

- ・各都道府県は地域医療構想調整会議で個別の病院名や転換病床数等の具体的対応方針を2018年度末までに協議
- ・地域医療介護総合確保基金 2018年度 934億円(医療)

- ・病院は、診療報酬改定、地域医療構想に沿って病床再編を具体化
- ・在宅医療の担い手である診療所は堅調に推移

海外

欧米諸国

- ・医療の質と効率性の向上
- ・米国IDN※1の拡大
- ・欧州GPO※2など集中購買の広がり

新興国

- ・一部地域で政治・政策動向に不透明感があるものの、景気は総じて堅調
- ・経済発展に伴う医療インフラ整備

医療機器の需要は底堅く推移

※1 IDN: Integrated Delivery Network 総合医療ネットワーク ※2 GPO: Group Purchasing Organization グループ購買組織

2) 次期業績見通し

(単位:百万円)

	当期実績 2018/3	次期予想 2019/3	増減率 (%)
売上高	174,249	180,000	3.3
国内売上高	128,144	130,700	2.0
海外売上高	46,105	49,300	6.9
売上総利益 (売上総利益率)	82,759 47.5%	86,800 48.2%	4.9
営業利益 (営業利益率)	14,517 8.3%	15,000 8.3%	3.3
経常利益	14,501	15,000	3.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,154	10,300	12.5
海外売上高比率	26.5%	27.4%	

為替影響除く:+11%

【地域別海外売上高】

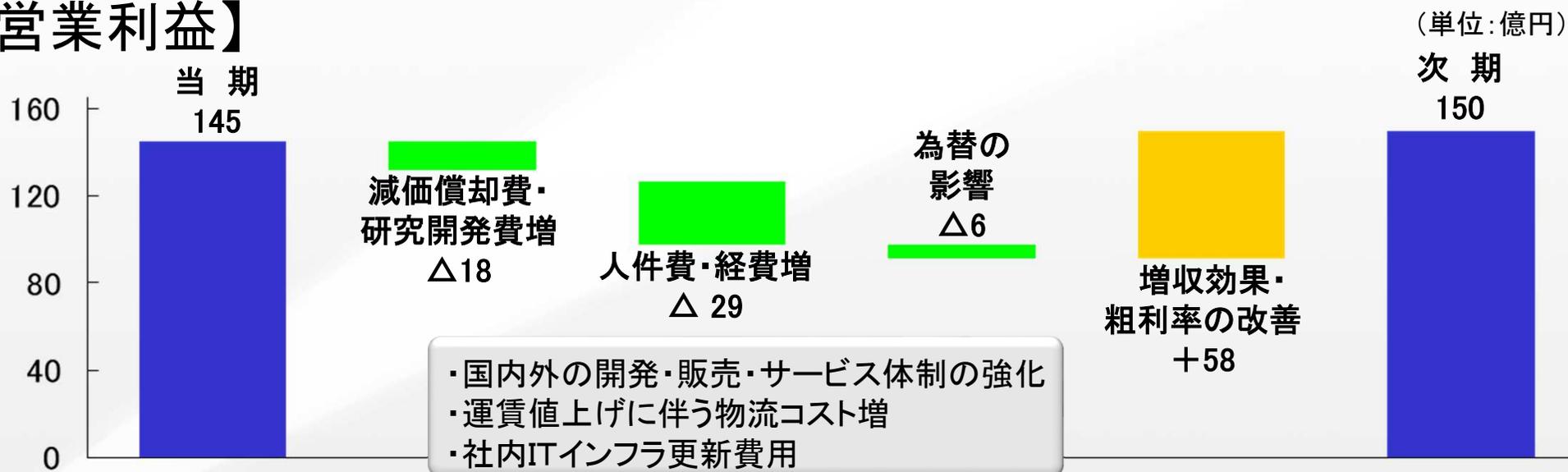
	当期実績 2018/3	次期予想 2019/3	増減率(%)
米州	22,000	23,400	6.4
欧州	8,462	9,100	7.5
アジア州	13,634	14,100	3.4
その他	2,008	2,700	34.4
海外計	46,105	49,300	6.9

3) 次期業績見通しの要因分析

【売上高】



【営業利益】



[参考]商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	当期実績	次期予想		増減率(%)
	2018/3	2019/3	構成比(%)	
生体計測機器	39,323	40,200	22.3	2.2
生体情報モニタ	59,229	62,500	34.7	5.5
治療機器	32,892	33,600	18.7	2.2
その他	42,804	43,700	24.3	2.1
売上高合計	174,249	180,000	100.0	3.3

(ご参考)

消耗品・保守サービス	75,505	78,100	43.4	3.4
------------	--------	--------	------	-----

平均レート

		当期実績 2018/3	次期予想 2019/3
米	ドル	111.0円	105円
ユ	ーロ	130.0円	130円

為替感応度の概算値(年間)

		売上高	営業利益
米	ドル	3.0億円	1.1億円
ユ	ーロ	0.5億円	0.2億円

3

中期経営計画の進捗状況

TRANSFORM 2020

TRANSFORM 2020 初年度の振り返り

① 主要指標

	2017/3実績	2018/3実績		2020/3 経営目標値	3年間の 平均 成長率
売上高 対前期増減率	+0.5%	+4.8%	売上高	1,900億円	4.5%
国内売上高 対前期増減率	+2.3%	+2.7%	国内売上高	1,350億円	2.7%
海外売上高 対前期増減率 (為替影響除く)	△4.6% (+6%)	+11.0% (+8%)	海外売上高	550億円	9.8%
消耗品・保守サービス 売上高比率	42.8%	43.3%	消耗品・保守サービス 売上高比率	45.0%	
営業利益率	8.2%	8.3%	営業利益 (営業利益率)	200億円 (10.5%)	13.8%
ROE	9.1%	8.6%	ROE	12.0%	

米州	273億円
欧州	82億円
アジア州	165億円
その他	30億円

TRANSFORM 2020 初年度の振り返り

②重要課題

6つの重要課題

地域別事業展開の強化

コア事業のさらなる成長

新規事業の創造

技術開発力の強化

世界トップクオリティの追求

企業体質の強化

2018/3期の取り組み

- ・国内販売子会社制を支社支店制に移行
- ・アフリカに支店を設立、ブラジルの直販体制を強化

- ・生体情報モニタの新製品を投入
- ・診療所市場向け商品ポートフォリオを拡充
- ・消耗品生産の自動化に着手

- ・人工呼吸器・麻酔器の自社開発を推進

- ・米国大口商談対応のため、現地開発体制を強化

- ・米国で11年連続顧客満足度No.1

- ・取締役会に占める社外取締役の比率1/3に(2018/6/27~)
- ・働き方改革を推進(2018/4フレックスタイム、在宅勤務制度を導入)

TRANSFORM 2020 高収益体質への変革

2019年3月期の取り組み

1 高い顧客価値の創造

顧客価値の高い自社製品の投入

部門間の連携強化により、コア技術を融合

治療機器事業

家庭

AED for HOME※

(国内)

救急車

救急車搭載
除細動器※

手術室

麻酔器※

ICU

人工
呼吸器※

(国内)

生体情報モニタリング事業

病棟

新興国向け
ベッドサイド
モニタ※

一般病棟・
回復期病棟
向けモニタ※

中位機種
ベッドサイドモニタ※



CSM-1500

※CSM-1500は発売済。その他は2018年度発売予定

消耗品・保守サービスの売上拡大

2019/3期売上比率 43.4%(予想)

2 組織的な生産性の向上

- 富岡生産センターでの
生産効率改善、
リードタイム短縮



- 富岡第二工場での
SpO₂センサ自動化生産



- 上海光電の開発・生産
体制の強化



- 本社-国内支社支店間業務
のスリム化

- ・コストダウン
- ・在庫の圧縮
- ・世界各国へのタイムリーな製品供給

6つの重要課題

地域別事業
展開の強化

コア事業の
さらなる成長

新規事業の
創造

技術開発力の強化

世界トップクオリティの追求

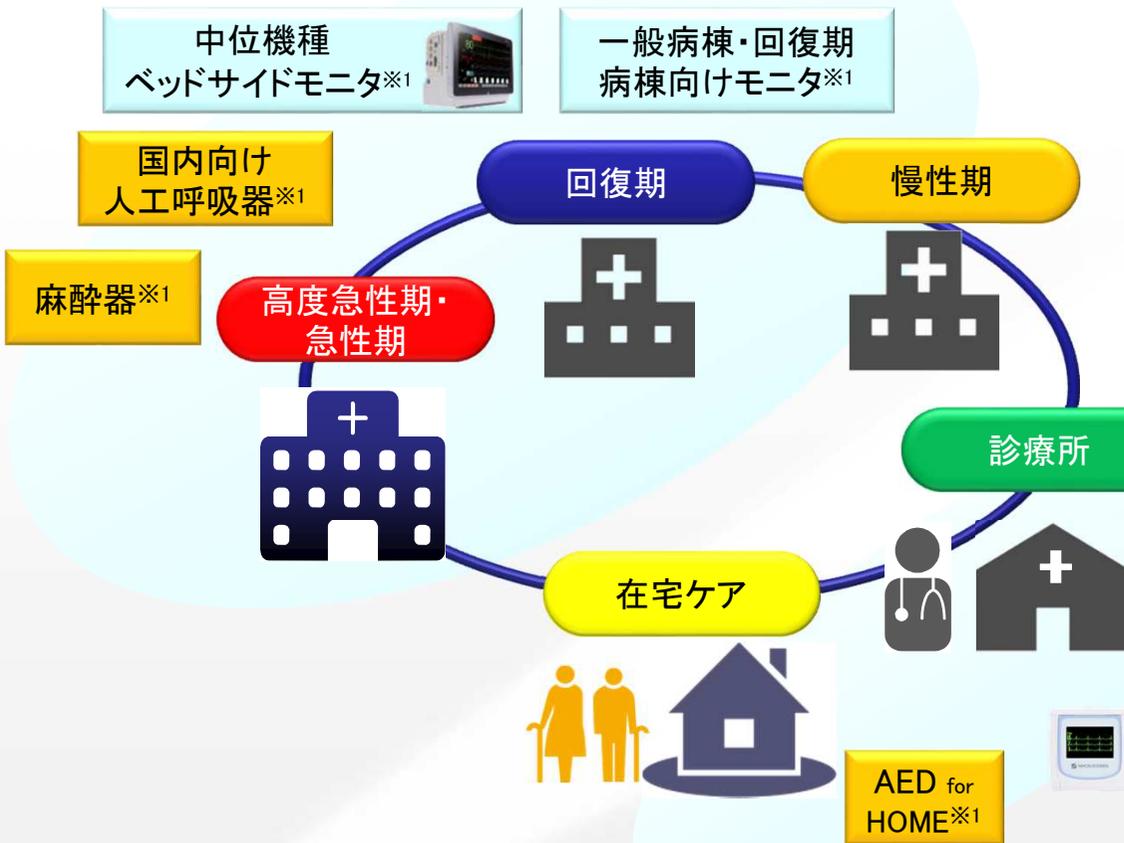
企業体質の強化

地域別事業展開の強化

日本

高齢社会の医療ニーズに応える新たな成長基盤の構築

- ✓ 病院経営の改善に貢献するソリューションの提供



- ✓ 販売・サービス体制の強化・再編

2016/4

病院営業 GP※2営業

2017/4

販売子会社制 ▶ 支社・支店制に移行

2018/4

首都圏に営業リソースを重点配備

- ✓ 地域医療連携に対応した商品ポートフォリオの拡充

PrimePartner

LAVITA®

※1 CSM-1500は発売済。その他は2018年度発売予定

※2 GP: General Practitioner 総合診療医

アメリカ

世界最大・最先端のアメリカでの事業基盤の強化

- ✓ 医療の質と効率の向上に貢献するソリューションの提供

- ✓ 現地開発体制の強化 **NKUSラボ**

- ✓ ワイヤレス技術を活用した大規模ネットワークシステムへの対応

生体情報モニタ

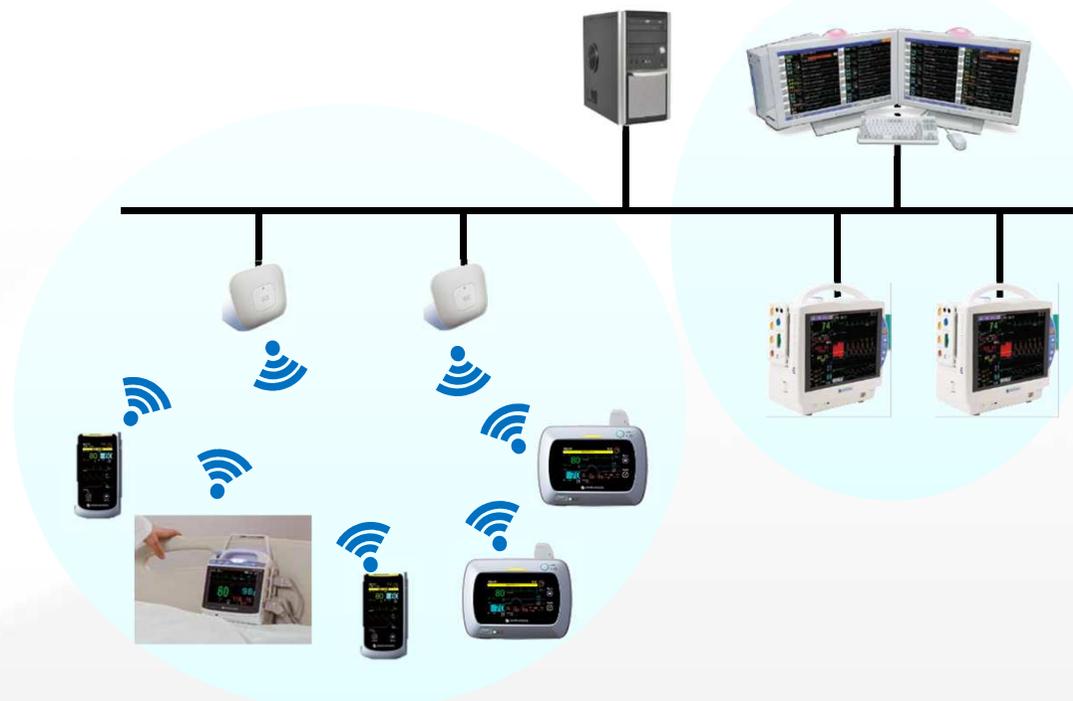
生体情報モニタ
市場シェア目標12%



脳神経系群



救命救急分野



2019/3期 収益改善に向けた取り組み

- ・モニタ新製品の投入
- ・モニタシステム設置料金の適正化

新興国

新興国市場の医療ニーズに応える戦略的事業展開

海外営業統括部の設立

10の子会社が一体となって、新興国市場の事業展開を推進

・新製品の拡販

・新製品の開発



一般病棟・
回復期病棟向け
ベッドサイドモニタ

2018年度発売予定
(中国を除く)

中国

上海光電

日本光電コリア

NKSバンコク

日本光電
メキシコ

日本光電
ラテンアメリカ

日本光電
ブラジル

日本光電
ミドルイースト

日本光電
インド

日本光電マレーシア

日本光電
シンガポール

サウジアラビア



KKU*病院でモニタ・
除細動器等の包括
商談受注

東アフリカ

2017年12月ケニア支店を開設



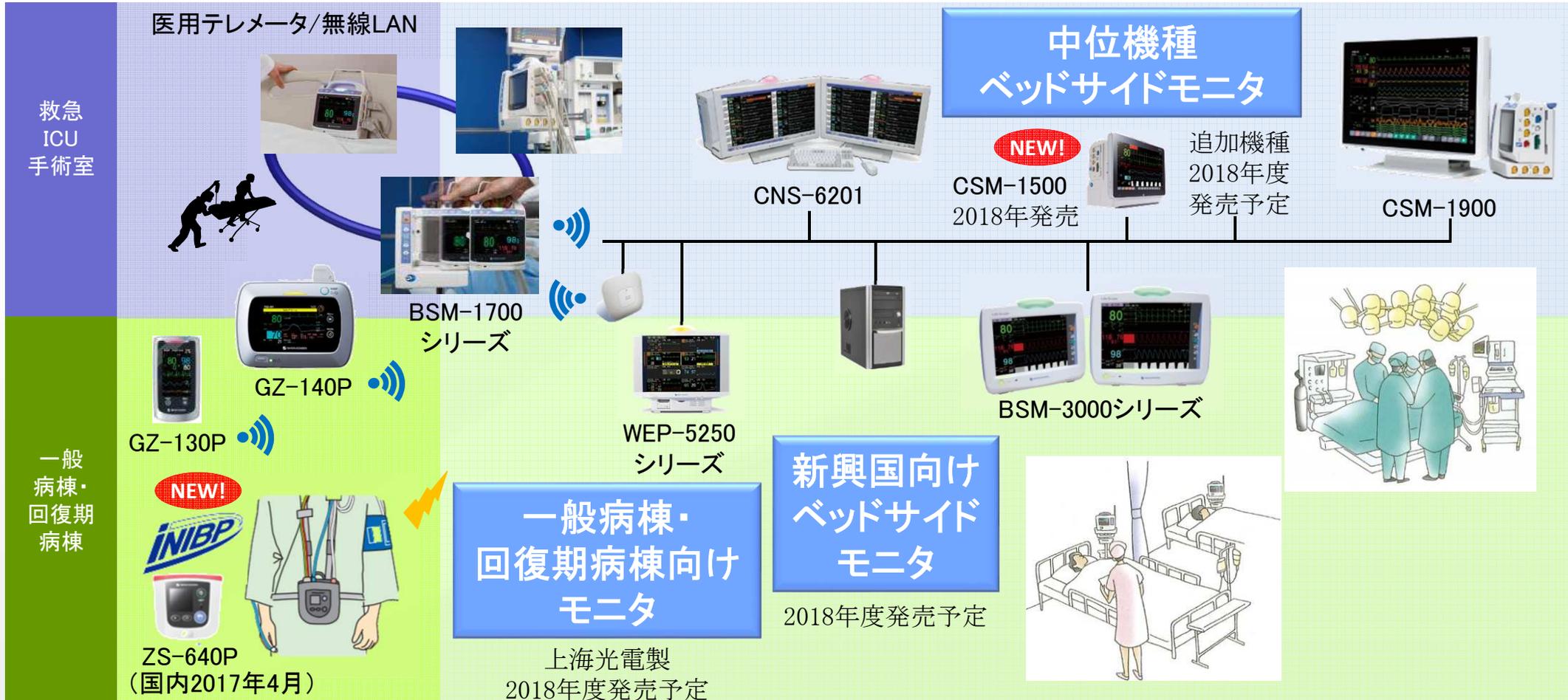
*King Khalid University Hospital in Abha サウジアラビア南西部の拠点病院

コア事業のさらなる成長



✓ 医療の質と効率、患者安全の向上に貢献するモニタリングソリューションの提供

製品ラインアップの拡充・ネットワーク対応



競争力の高い製品の投入

救急

手術室

ICU

CCU

病棟

中位機種ベッドサイドモニタ

12.1-inch



CSM-1501

15.6-inch



CSM-1502

NEW!

2018年発売
国内3月、欧州4月、
米国は下期予定



追加機種
2018年度
発売予定

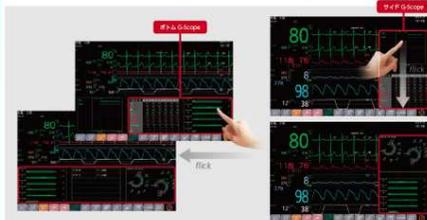
上位機種



CSM-1901

上位機種CSM-1901の継承

・快適な操作性 **G-Scope機能**



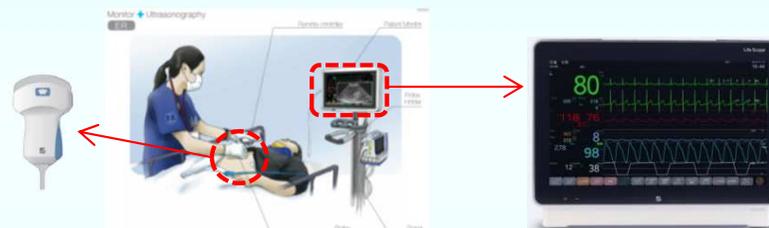
・診療・治療に役立つ直感的
レビュー画面 **血行動態グラフ**



独自機能による高付加価値化

・超音波画像診断装置との連携
(救急向けFAST※対応)

2018年度予定



・EEGヘッドセットで
脳波モニタリング
(ER、ICU等)



自社製
人工呼吸器・
麻酔器
(2018年度発売予定)
との連携

※Focused Assessment with Sonography for Trauma

救急の外傷患者に対して、心臓腔、腹腔、胸腔の出血の有無を確認するため行う迅速簡易超音波検査

✓ 除細動器・AED市場におけるリーダーポジションの確立

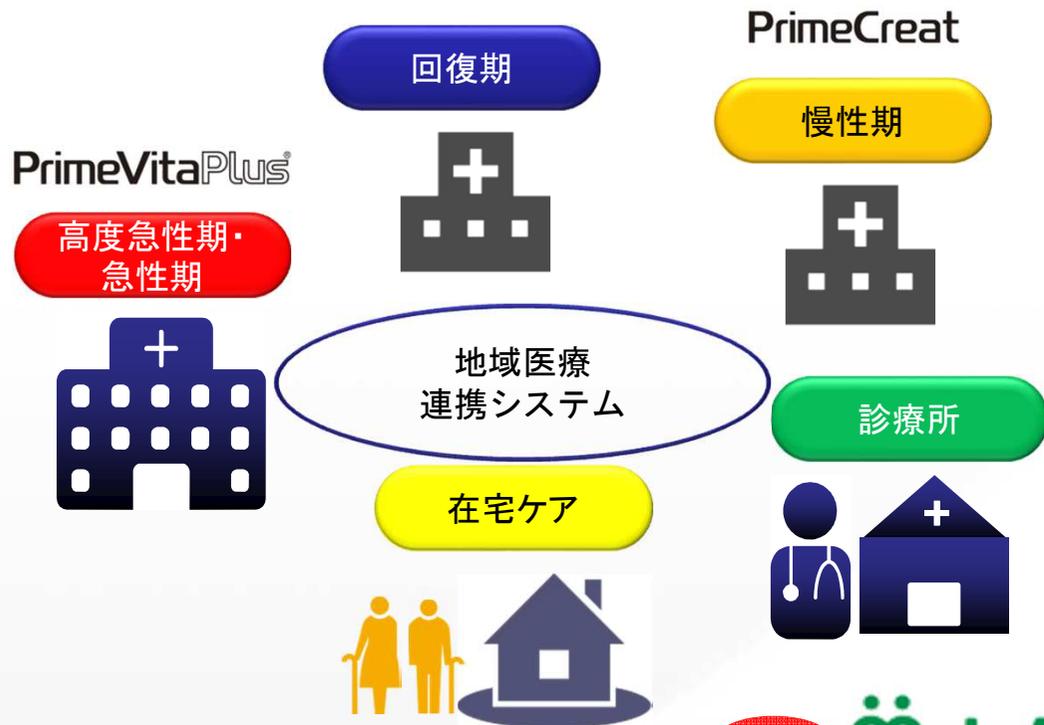
<p>【家庭・公共施設】</p>  <p>AED for HOME</p> <p>2018年度 発売予定(国内)</p> 	<p>【救急車】</p>  <p>独自技術による高付加価値化</p> <p>救急車搭載 除細動器</p> <p>2018年度発売予定</p>  <p>ETCO₂ Audible Cue 換気中のETCO₂管理を音でサポート</p> <p>INIBP</p> <p>synECG 18 Synthesized Electrocardiogram 導出18誘導心電図※</p>
--	--

✓ 人工呼吸器、麻酔器事業の早期立ち上げ、グローバルな事業展開の推進

2018年度発売予定		2019年度発売予定	
国内向け人工呼吸器	総合技術開発センターで開発中	新興国向け人工呼吸器	米国開発拠点オレンジメッドで開発中
麻酔器	アコマ社と共同開発中		

※12誘導心電図の波形をもとに、右側誘導、背部誘導の波形を演算により導出する技術

✓ クラウド技術を活用し、地域医療連携の基盤となる
システム商品を拡充



日本光電初の「クラウドサーバを活用した」
「月額利用料制」のITソリューション



モバイル端末でデータ参照可能。LAVITAとPrimePartnerの組み合わせも可能。



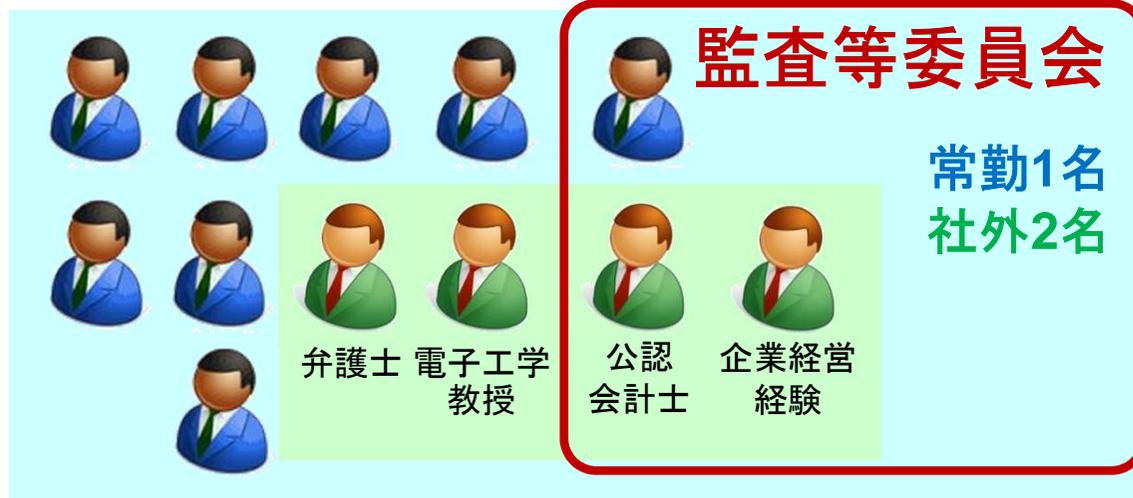
・オンライン診療におけるLAVITA活用をPR
・電子カルテなど各種システムとの連携強化

企業体質の強化

コーポレート・ガバナンス

- 2016年6月 監査等委員会設置会社に移行
指名・報酬委員会を設置
- 2018年6月 社外取締役の比率1/3(予定)

取締役会 取締役 8名、社外取締役 4名



指名・報酬委員会

- 委員長: 社外取締役
- 委員: 社外取締役 3名、取締役 2名

コンプライアンス

- 2017年
- ・腐敗行為防止規定を制定
- ・グローバル・コンプライアンス・プログラムを導入



利益配分の基本方針

成長投資

株主還元

将来の企業成長に必要な投資を継続

研究開発

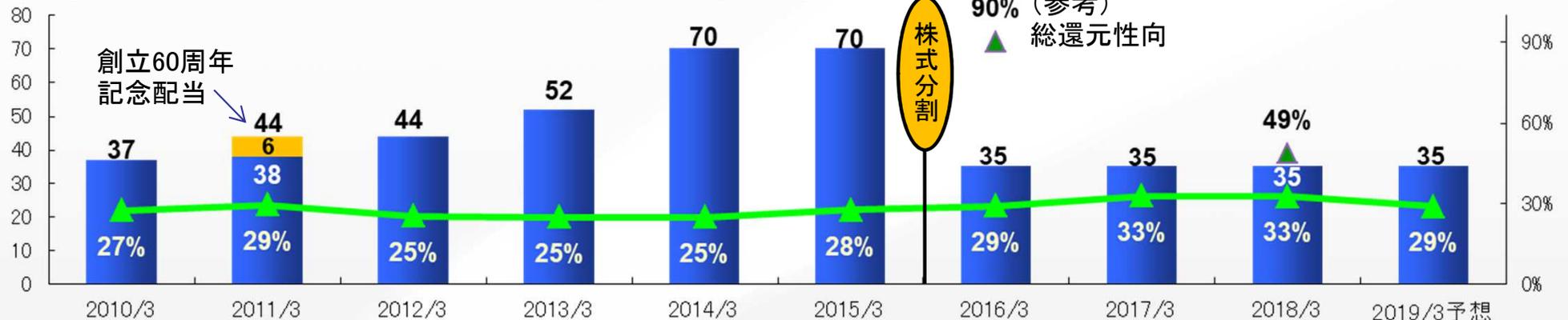
設備投資

M&A、提携

人財育成

- ✓ 長期にわたって安定的な配当を継続
- ✓ **連結配当性向30%以上を目標**
- ✓ 配当を重視し、自己株式の取得は機動的に検討

(円)【一株当たり配当金・連結配当性向の推移】



注) 2015年4月1日を効力発生日として株式1株につき2株の株式分割を実施
2015年3月期までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載

自己株式の取得・消却状況

2018/3/2
50万株を取得



2018/5/21 (予定)
100万株を消却



自己株式保有見込み: 357万株
(持株比率: 4.0%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営戦略部

【連絡先】 TEL03-5996-8003